Press Release

2025年11月7日

『Inter BEE 2025』出展のお知らせ

株式会社コルグ（本社:東京都稲城市、以下コルグ）は、2025年11月19日（水）から21日（金）かけて千葉県千葉市にある幕張メッセで開催される『Inter BEE 2025』に出展をいたします。

コルグが開発した高音質配信技術「Live　Extreme」は、4K・HDR・ハイレゾ／ロスレス音源・立体音響といったフォーマットに対応し、高品質な音楽・映像配信システムとして高い評価を得てきました。

本展示では、その技術を映画館の上映設備にも最適化し、配信のフィールドを劇場上映を中心としたライブビューイングやODS（Other Digital Stuff）領域へと拡げた新たな活用モデルをご紹介します。

さらに、ライブ会場から映画館上映、リモート監視までを統合的に管理する劇場向けマネージメントシステムの開発構想も発表し、上映運用の効率化と、ライブビューイングにおける新しいソリューション展開の可能性を提示します。



出展概要

＜会期＞
11月19日（水） 10:00～17:30
11月20日（木） 10:00～17:30
11月21日（金） 10:00～17:00

<場所>
幕張メッセ
〒261-8550 千葉県千葉市美浜区中瀬2-1

<ブース>
プロオーディオ部門 ホール3小間番号 3218
https://www.inter-bee.com/ja/forvisitors/exhibitor_info/detail/detail.html?id=1773

＜入場＞
無料（全来場者登録入場制）
https://www.inter-bee.com/ja/

<主な展示>
- 動画配信エンコーダーソフトウエア・システム

「Live Extreme Encoder」
- Live Extremeによる配信デモンストレーション
- 劇場配信システム、専用アプリのご紹介

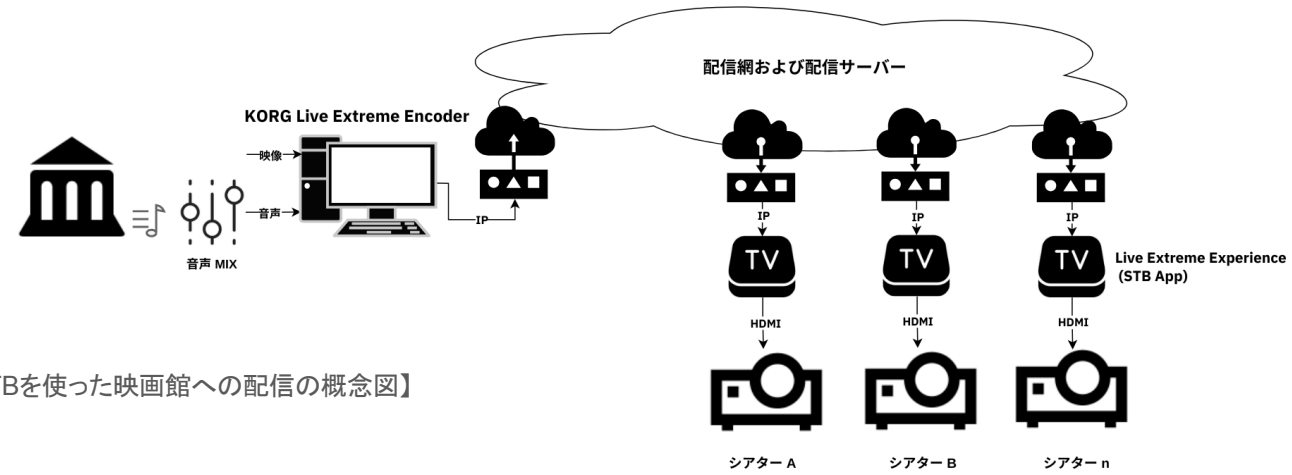
＜展示ソリューション概要＞

本展示では、コルグが開発した高音質配信技術「Live Extreme」を核に、さまざまな現場で活用できる配信ソリューション群をご紹介します。確立された品質を基盤とし、用途や環境に応じた実運用イメージを、実際の展示構成を通してご覧いただけます。

展示内容は、プレミアム配信を実現する「Live Extreme Encoder」（最新アップデートとしてAURO-3D® CX対応を追加）、Dolby Atmos®対応の再生アプリケーション「Live Extreme Experience」による再生環境の提示、そして映画館の上映設備を活かした次世代劇場配信システムまで。

なかでも今回は、映画館向けライブビューイング配信ソリューションを中心に、劇場上映における新しい運用モデルとシステム構成をご紹介します。

次世代劇場配信システム



【STBを使った映画館への配信の概念図】

近年、映画館ではライブコンサートや演劇、トークイベントなどのライブビューイングをはじめとした非映画デジタルコンテンツ（ODS：Other Digital Stuff）上映の需要が拡大しています。
本展示では、こうした市場に向けて、コルグとヒビノイマジニアリングが共同で開発を進めている次世代劇場配信システムをご紹介します。

本システムは、映画館に備わるシネマサーバーやサラウンド音響（例：Dolby Atmos®対応設備など）といった上映インフラをそのまま活用し、特別な機材追加や大規模な改修を必要とせず、安定した高品質なライブビューイング配信を実現する構成です。
開発中の劇場上映専用CMS（コンテンツ・マネージメント・システム）とも連携し、上映スケジュール管理、配信監視、上映前チェックなどの運用を一元化します。

参照：ヒビノイマジニアリング プレスリリース
https://www.hibino-imagineering.co.jp/news/2285/

また今回は、立体音響も含んだライブビューイング配信の実際の構成を例に、エンコード以降の配信～上映工程を中心に、リアルタイム配信も含めてご紹介します。

＜リアルタイム配信内容＞

Yamaha Sound Crossing Shibuyaで行われるライブ公演では、輝日株式会社（小間番号：3215）が構築した一般ネットワーク回線を用いたマルチキャストVPNネットワークインフラを基盤に、ミハル通信株式会社（小間番号：3216）による超低遅延の伝送ソリューションを活用し、ホールから渋谷T-2音声中継車スタジオへ多チャンネル音声と映像を劣化なく伝送します。

株式会社NHKテクノロジーズ（小間番号：8501）の渋谷T-2音声中継車スタジオを含む制作環境では、伝送された音声素材をもとにリアルタイムでDolby Atmos®ミックスを制作。その制作環境内に設置されたLive Extreme Encoderにより、Dolby Atmosフォーマットのストリーミングデータを生成し、リアルタイム配信します。

これらの伝送経路を通じて、イマーシブオーディオ＆リモートプロダクションのワークフローが構築され、ライブ会場からスタジオ、そして上映会場までを結ぶ、イマーシブオーディオ＆リモートプロダクションによるリアルタイムDolby Atmosライブビューイング配信の実運用モデルを体験いただけます。

出演：コアラモード.

協力：IP PAVILION、ヤマハ株式会社、輝日株式会社、ミハル通信株式会社、株式会社NHKテクノロジーズ、合同会社Ark

日時：11/19, 11/20, 11/21　①13:00~　②16:00~（最終日のみ15:30~）

Live Extreme Encoder



「Live Extreme Encoder」は、高品位な音声と映像を扱うことを前提とした配信エンコーダーです。

最大4K・HDR映像およびロスレス／ハイレゾ・マルチチャンネル音声に対応し、Dolby Atmos®などの立体音響フォーマットもサポートします。音楽ライブやプレミアム配信コンテンツに求められる品質を、リアルタイム動画配信のワークフローにそのまま組み込むことができます。

本展示では、実機を用いてエンコードから配信までのシステム構成を解説し、Live Extremeを既存の制作・配信環境へ組み込みを具体的な事例でご紹介します。

また、最新バージョンではAURO-3D® CXへの対応など、立体音響コンテンツ配信に向けた機能拡張も行っており
現在の配信技術動向に即したフォーマットサポートを実装している点についてもご覧いただけます。

（AURO-3D® CX対応の詳細：https://note.com/live_extreme/n/n32780439c1d1）

Live Extreme Experience



AndroidデバイスやSTB（Apple TV, Fire TV, Android TV）でLive Extremeコンテンツを再生可能にするネイティブ・アプリケーション

ロスレス／ハイレゾPCMコンテンツに加え、Dolby Atmos®対応端末ではDolby Atmosコンテンツの再生にも対応します。
アプリ内で表示されるLive Extremeデモ・コンテンツの再生に加え、Live Extreme提携サービスが提供する配信コンテンツも再生することができます。

Studio Extreme Tokyo



ライブ配信・撮影・録音も可能な業界最高水準のプロ機材スタジオ

スタジオエクストリーム東京は、楽器メーカーKORGが運営するプロユーススタジオ。
最新の映像・音響機材に加え、楽器レンタルにも対応。
“音”にこだわる収録やライブ配信に最適な環境を整えています。
https://set.groks.co.jp/

【Live Extremeに関するお問合せ先】
株式会社コルグ 技術開発部 Live Extreme担当
EMAIL: live-extreme@korg.co.jp
Live Extreme公式サイト : https://live-extreme.net
Live Extreme公式Twitter : @KorgLiveExtreme

KORG（コルグ） https://korg.com
株式会社コルグは、1963年の創立以来シンセサイザー、デジタル・ピアノ、チューナー等を製造、販売している日本の電子楽器メーカー。独創的な発想のもとエポック・メイキングな製品を数多く生み出し、国内外のトップミュージシャンに支持されています。
Live Extreme https://live-extreme.net
コルグが開発した業界史上最高音質によるインターネット動画配信システム。最大4Kの高解像度映像とともに、高音質なロスレス・オーディオをはじめ、更に高品位なハイレゾ・オーディオ（最大 PCM 384kHz/24bit および DSD 5.6MHz）をライブ配信できる世界初*[1]の画期的なシステムです。

[1]サンプリング周波数96kHzを超えるハイレゾ・オーディオに対応した動画配信システムとして（コルグ調べ）